

発行所 日本キリスト教団 なか伝道所  
〒231-0026 横浜市中区寿町 3-10-13 金岡ビル 205  
Tel. (045) 671-1109  
振替 00200 - 1 - 47369  
E-Mail : naka-ch@hb.tp1.jp HP : http://church.jp/naka/  
発行者 なか伝道所／編集委員会 (題字 松橋 順)

宣教方針 ① 貧しい人々への福音に共にあずかる。  
② 地域の問題に関わる。  
③ 諸教会に呼びかけてゆく。  
集会 主日礼拝 日曜日(第1・第3はりモートあり、  
第4 自主礼拝、教会暦による変更あり)  
午前10時30分より

## 寿町と震災避難



今回は、寿地区で寿クリンセンターや看護師として活躍されている森英夫さんを講師にお招きし、「寿町と震災避難 興味を持ったことと行動」と題してお話しいただきました。森さんの歩みを含めたお話を読んでください。

### 「寿町と震災避難 興味を持ったことと行動」

森 英夫

このテーマで二〇二五年三月二日になか伝道所でお話をする機会を頂きました。どんな話をしたらいいかと考えた時に、私が今この活動に参加している道筋みたいなものが話せたらいいかなと考えて構成しました。子どもの頃からの取りとめもない話になってしまったかもしれませんが、どんなことを話したのか思い出しながら文字にしていきます。

#### 小学生

東京から自然豊かな広島に転居しました。石を集めて、虫を観察したりするのが好きでした。低学年の時、なにげなしに蟻を踏みつぶし同級生から注意を受けました。公民館に作られた燕の巣を投石で破壊してその後には燕がいなくなったと聞きました。命について考えるきっかけになりました。東京に戻り、江戸川乱歩く宗教、自然科学など図書館で読書することが多くなりました。

#### 中学生

うさぎなどの動物を飼いました。

思い込みかもしれませんが当時はうさぎと話せる(心が通じる)ようになったような気がしていました。

加熱する受験戦争の時代。周囲が進学に一色となる中で、なぜ進学しなければいけないのだろうかと考え取り残されていきました。雪の降る高校願書提出日に家出して河原でテントを設営しましたが、雪でテントがつぶれ、川は増水して危なくなりました。三日で帰宅しました。この頃入院していた祖母のお見舞いに行ったり、きに男性看護補助職の存在を知り、こういう人の世話をする仕事に就くことができるのだなあと思いました。

#### 中卒後

高校に進学しなかった同じ境遇の友人と遊んでいました。進学した同級生への劣等感を感じていました。一六才で新聞配達と動物病院でアルバイトを始めました。働くことが楽しかった。朝刊配達は朝三時に起きて出勤するので、その後同居する親が眠れなくなり体調不良になりました。転職先を探す中で看護助手を目指しましたが、見つからず病院の給食調理員になりました。この経験はその後の家での料理作りに役立ちました。

## 看護学生

病棟勤務と実習で様々な年代の患者さんと出会い、看護技術だけでなく、人生経験を学びました。薬害エイズ事件では現在国会議員となっている川田龍平さんが患者としてカミングアウトして注目されました。車いすでも電車移動ができるようにエレベーターの設置を求める交通行動が行われました。こうした社会問題に関するデモに参加するようになりました。

## 一九九五年

阪神淡路大震災が起こりました。准看護師の資格は持っていました。看護師進学コースの学生であり、ボランティアに行きたかったです。断念しました。その時に阪神大震災ボランティアに行った看護師を紹介されて、初めて寿町へ来ました。最初の印象は「日本じゃないみたい。」

## 看護師

寿越冬・寿医療班の月例相談に東京の自宅から通いで参加するようになり、だんだん気になる町になっていきました。相談者が越冬後にアルコール依存症のために亡くなったことがありました。病院よりもこの町では人が死ぬことが多いかもしれな

い。腰を落ち着けて関わろうと思うようになりました。一般病院から精神科病院に仕事を変えて寿で働くことを目指しました。精神科閉鎖病棟の勤務では患者さんの尊厳が守られていない現実を実感しました。

## 二〇〇二年

寿町（アジアビル）へ転居しました。住居と職場が接近している状況が続きしました。

## 二〇〇三年

イラク戦争が起こり反戦デモによく参加するようになりました。放送大学に入学して、学ぶことは楽しいと感じました。

## 二〇〇八年

リーマンショックをきっかけに炊き出しの時に合わせて相談活動を行うようになりました。

## 二〇一一年

東日本大震災・原発事故では、これからどうなってしまうのかと恐怖しました。時を同じくして子どもが誕生して喜びと責任を感じました。社会のあり方と人生は直結する。だから社会や政治に働きかけをすることをやっつけていかなければいけない。政治

が変わらないと命も危ぶまれることになってしまうと考えました。震災ボランティアに二〇一一年六月（二〇一二年三月頃まで参加して過酷な避難生活の実態を見ました。

## 二〇一二年

福島原発かながわ訴訟が始まり原発避難者支援など神奈川でもできることに取り組みました。放送大学卒業論文のテーマに「原発災害避難者が直面する問題と政策の検討」を選びました。（三月二日の学習会では卒論の一部をコピーして紹介しました。）鎌倉や横浜で行われた福島の子どもたちの保養活動に参加しました。

## 二〇一五年

選挙に立候補して横浜市議選に三回、参院選に一回挑戦しましたが、いずれも落選しました。

## 二〇二〇年

新型コロナウイルス感染症の蔓延によって「コロナ失業」が増え、生活相談が急増してネットを介した相談活動「新型コロナ災害緊急アクション」の活動に関わり始め、現在も続けています。

現在 寿クリーンセンターで現場仕事をしながら、時々訪問看護の仕事をして、市民・政治活動に参加しています。二〇二五年七月の参院選にどう関わるか、その後の生活と活動の方向性を考えています。

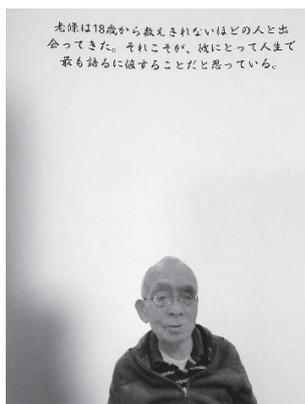
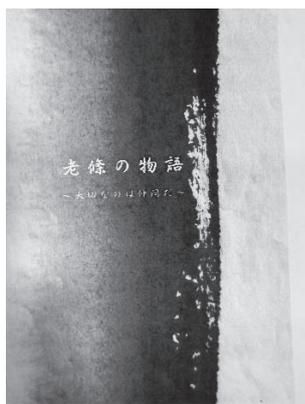


学習会の様子



## 篠さん、本になる

篠さんの台湾の友人の方が、篠さんの半生を絵とインタビューで綴った素晴らしい本にしてくれました。実物は教会にありますので、ご覧になってください。



## 佐々木五律子さんを追悼して

武井 昭代

雛祭りの頃、私はなか伝の愛餐会に重箱いっぱい詰めてきて下さった手作りの桜餅のピンク色と香りを思い出して、お電話を差し上げた時「ええ、ええ、そうでしたか」とお元氣そうなお声を聞かせて下さいました。しかし十日程後、佐々木さんのお嬢さんから、佐々木さんが体調を崩された事、今すぐどうと言う事ではないが、歳も歳なので……とご連絡をいただき驚きました。

取り敢えず寄せ書きカードを用意して、ちょうど代務者の中村先生もいらつしやった時なのでお願いすると、お手紙まで付けて下さいました。それから間もなく、今度は入院、逝去、葬儀と立て続けのご連絡を頂く事になってしまいました。

佐々木さんは時々思いもよらない発想をされる方で、私が「子どもと共に」の時間で教材に使った数本の麦を持ち帰られると次の週に「あの麦は全部で七八四粒ありましたよ」と言われ、驚いている私に「ええ、ええ、一つも落とさないように気を

つけて二回数えましてね……」とサリリと続けられたのです。

昔、佐々木さんはお連れ合いと一緒に北海道の野幌教会で牧会されていらしたそうで、渡辺英俊牧師が岩見沢教会に赴任して、佐々木牧師ご夫妻を訪ねられた時の事を昨日のことのように「……バイクの音がしたので出てみるとおおいきなバイクが止まって、ヘルメットをかぶった方が『北海道は広くていいですねえ』と言いながら降りて来られて、それが渡辺先生でね」と何回か話して下さいました。渡辺牧師の方も、「佐々木牧師には北海道でずいぶんお世話になりました」と言われ、佐々木さんの訃報をお知らせした時も「……僕がご葬儀をしてあげられたら良かったけれど……でも中村先生がして下さって本当に良かった」と安心されたようでした。

佐々木さんと中村先生は佐々木さんが目を閉じられてからの「初めまして……」でしたが、中村先生からのお見舞いの言葉やお手紙、告別式の司式と説教、お嬢さんの奏楽やご子息、お孫さん、曾孫さんの参列に「ええ、ええ、どうもどうも」と佐々木さんの明るいお声が聞こえるよう

な気がしました。どうぞ天国でお連れ合いや親しい方々との再会を楽しんで下さいますように。遺されたご家族の上に主の慰めと平安をお祈り致します。

お交わりを感謝して



佐々木さんが独・英・日本語で編集された絵本と家庭料理レシピ



佐々木さん(写真中央)と共に(2012年クリスマス)

使信

## 「イエスは生きておられる」

マルコによる福音書 一六章一〜八節

コリントの信徒への手紙一 一五章三〜八節

隠退牧師 渡辺英俊

### 「三人」の女性

安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。……若者は言った。「……あなたの方は復活なさって（起こされて）、ここにはおられない……。」

（マルコによる福音書 一六章一〜八節）

……キリストが……三日目に復活した（起こされた）こと、ケファに現れ、その後十二人に現れ……次いで五百人以上もの兄弟たちに同時に現れ……次いで、ヤコブに現れ、その後すべての使徒たちに現れ……

（コリントの信徒への手紙一 一五章三〜八節）

聖書に遺されている「復活」についての神話的な物語の多くは、ずっと後の時代になって語り出されたもので、その時代の教会の信仰の所産です。それはそれとして、そういう信仰の元になった歴史的な出来事について、聖書は二つの手がかりを残しています。

マルコによる福音書一六章では、三人の女性が朝早くイエスの墓の前で、神の使いである「若者」から、イエスは「起こされた」というメッセージを聞いたとされています。これも、舞台がイエスの「墓」であったり、「白い長い衣を着た若者」が出て来たりする限りでは、神話的な物語ですが、ここに出て来る「マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメ」という三人の女性のリストは、マルコがそれ以前の伝承から受

け継いだ、貴重な歴史資料であると思われまます。

この三人のトリオの名前は、一六章の記事のすぐ前の一五章四〇節に、イエスの十字架を見届けた三人の女性として出て来ます。マルコの残したトリオ・リストは、このほかに「ペテロ、ヤコブ、ヨハネ」という男性のトリオ・リストがあります。マルコに三回（五・三七・九・二、一四・三三）出て来ますが、これは「十二人」という権威の成立以前から、この三人が仲間のリーダーシップを持っていたことを示すリストです。同様に、女性に関してもトリオのリストが残っているということは、キリスト教の始まりのどこかで、この三人の女性がグループのリーダーシップを持って活動したことを反映していると思われるます。

しかし、この三人の女性についてのマルコの語り方は、憤りを覚えるほど不当です。マルコは、イエスが捕えられる場面では、慌てふためいてイエスを置き去りにして逃げてしまった男性の弟子たちの醜態を描いています（一四・四三〜五二）。そしてそれと対照的に、十字架の場面であのトリオ・リストの「三人の女性」たちが、恐れず踏みとどまってイエスの最期を見届けたことを書き残し

ています。それなのに、その直後の一六章、「墓の前」の場面では、「天使」から復活の知らせを聞いて、

「婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。」（八節）  
と言うのです。恐れあまり、「天使のみ告げ」を握りつぶしたという汚名を三人の女性に着せる話で、マルコ福音書はぶつくりと、不自然な終わり方をしています。十字架の下に最後まで踏みとどまった女性たち、そして、復活後の教会の始まりのどこかで、リーダーシップを持って活動したはずの女性たちに関して、マルコが、このような記述を残したまま、その後の経過については沈黙してしまっただけについては、なぜかと問わずにはいられません。

### 目撃証言リスト

これには、もう一つの証言が、重要な事実を伝えていきます。パウロが、コリントの信徒への手紙一に書き残している伝承がそれです。この伝承は、恐らく、復活事件後数年の内にパウロがエルサレム教会から受けたもので、歴史的証言としては二つとない貴重な資料です。

それは、イエスの「復活」の目撃

者リストで、そこには、ペテロ（ケ  
ファ）を筆頭に  
ペテロ↓二人↓五〇〇人  
ヤコブ（主の兄弟）↓すべての使徒  
たち

と、目撃者が順序立てて列記されて  
います。これは、復活の目撃者を中  
心にして成り立ったエルサレム教会  
の権威を、他の各地の教会グルー  
プに対して示すものですが、同時に  
エルサレム教会内での権威の序列を  
反映したものと思われまふ。つまり、  
当初「ペテロ」が、そして後に「ヤ  
コブ」が、筆頭のリーダーとなった  
ことを反映しています。

それにしても、この大きなリスト  
が男性ばかりなのはなぜなのでしょう。  
う。もちろん、「五百人」とか「す  
べての使徒たち」とかいう男性複数  
形に女性もいたとは考えられまふ  
が、それにしても。女性がいたこと  
を示す記述は何もありません。先  
に見たマルコ福音書で、「三人」の  
女性のリストが、イエス集団のリー  
ダーだった三人、「ペテロ、ヤコブ、



ヨハネ」のリストと並ぶくらい大切  
な役割を果たして登場しているの  
と、このパウロの「目撃者」リスト  
とのギャップに、私は、何だこれは  
：：と疑問を持たざるを得まふ。  
ここには、その後の教会を強く支配  
してきた暗黙のダイナミクスが働い  
ているのではないのでしょうか。教会  
のリーダーシップは男性のものだと  
いう、暗黙のダイナミクスです。

マルコの手の中には、明らかに女  
性のリーダーシップがあったことを  
示す「三人の女性リスト」の伝承が  
あったのです。マルコとしても、こ  
れは握りつぶすわけにいきまふ。  
しかしもう一方で、彼の時代の教会  
では、パウロが書き残しているよう  
な、男性によるリーダーシップの伝  
承が早くから確立されていて、そこ  
には女性のリーダーシップを差し挟  
めるような場はありません。何とか、  
「墓の前での天使のみ告げ」という  
場面を設定してみました、それ以  
上に女性たちの活動を語る場面が造  
れなくて、女性たちを沈黙させるほ  
かなかつた：：。そのため、恐ろ  
しくて黙ってしまったということに  
して、女性のトリオを舞台から消し  
去るほかなかつた：：。マルコ福音  
書の理不尽な結末部分には、そんな  
ダイナミクスが働いていたと思わざ  
るを得ないのです。

そしてそれは、その後の教会の歴  
史において、今日まで教会のあり方  
を支配してきたダイナミクスなわけ  
はないかと思われまふのです。教会が、  
男性本位の教義と組織で固められて  
しまう以前の、イエス運動の再現と  
して出発した原点では、女性たちが  
リーダーシップを持っていた時期が  
あった：：。マルコ福音書の不自然  
な終わり方は、そういう教会のあり  
方に初めから含まれていた「破れ」  
を露呈させたものだと、私は考える  
のです。同じ破れを、現代の教会も  
また負っていることを、自己批判を  
以て受け止めざるを得まふ。

最初に「復活」の出来事に出会い、  
イエスが生きておられることを発見  
したのは女性たちだった：：、それ  
がイエス運動の仲間たちの信仰に火  
をつけ、爆発的に広がったのが、キ  
リスト教信仰の始まりだった：：。  
マルコに残された伝承から、そうい  
う事実を掘り出すことができるので  
はないかと思ひます。

### イエスは起こされた

女性たちが最初に目撃し、発信し  
たメッセージは、「イエスは起こさ  
れた」だったと思われまふ。マルコ  
（六節）でもパウロ（四節）でも、  
日本語訳では「復活した」と訳され

ていますが、元の字は「起こされた」  
です。寝ている人が起こされるよう  
に、死から起き上がった活動を再開  
する、それが「起こされた」です。  
女性たちは、つい数日前に目撃した  
イエスの十字架の姿をバネに、この  
イエスが死から起こされて生きてお  
られるのを見てしまったのだと思わ  
れます。それは、外に見た幻であつ  
たでしょうし、内に見た霊的な熱い  
ものでもあつたでしょう。ともかく  
女性たちは、ナザレのイエスが生き  
て働き続けておられるのを目撃し  
て、「イエスは生きておられる」と  
仲間たちに告げ、イエスの運動を自  
分たちの体で受け継いだのだと思わ  
れます。

ここで大切なのは、彼女たちが共  
に歩んできたナザレのイエスが生き  
かえつて、十字架を超えて、貧しい  
人びと、小さく弱くされた人々の解  
放の働きを続けておられるのを見た  
：：ということだと思ひます。ここ  
では、イエスが活動されたイエス運  
動が、生きかえつたイエスと共に受  
け継がれ、続けられています。

しかし、その後間もなく男性の弟  
子たちが戻つてきて、リーダーシ  
ップを引き継いでいくのですが、そこ  
では、イエスが「復活者キリスト」  
として、「宇宙の支配者」、「終末の  
時の審判者」として栄光の衣を着せ

られていきます。ナザレのイエスの貧しい姿は、金の冠をかむらされた栄光のキリストに変えられてしまうのです。

復活の信仰というのは、生きておられるイエスを見た、という体験であり、証言であると思います。そしてそのイエスとは、栄光の冠で飾られたキリストではなく、今も生きて、苦しみを負わされた人々と共に苦しみを負っておられ、その人々に寄り添って共に助けを求める人々の中に働いておられるイエスであると思われまます。「キリスト信仰」の初めの前に、「三人の女性たち」に代表される人々が目撃し、復活信仰の発火点になった出来事とは、そういうことではなかったかと、私は受け止めているのです。



### 「低きに立つ神」を読み終えて

学習会担当 小笠原敦輔

本書は日本の様々なひずみの場所に焦点を当て、現場で取り組んだ方の語るドキュメンタリーである。

昨年九月「山谷一九六七」を香澤さんが担当してくださってから、水俣を鈴木さん、山谷を岩岡さん、筑豊を山本ユリ牧師、釜ヶ崎を公子さんと続いて、最後に私が英俊さんの書いた寿町を担当させていただいた。

英俊さんは寿の課題として、①越冬闘争②炊き出しと夜回り③高齢者④障がい者⑤アルコール依存症者⑥外国籍者⑦女性と子どもを上げているが、現在、各地域共通の問題が多いと思う。

また、キリスト教の問題として、キリストの死から天に上げられてしまう神では、寄せ場という地べたでは共に歩んでいくことはできない。イエスはむしろ地べたに共にいて、信仰者の生の志向を世のへ低みへと向けることを問題提起している。

私たちは、次の勉強会の本を「横浜寿町 地域活動の社会史」に決めた。更に寿町について学びを深めて、この町の課題を共に担っていけるようになりたい。

### なか伝道所支援献金の

お願いとご報告

皆様からご支援をいただき、心より感謝いたしますと共に、ここに二〇二四年度の年間報告、二〇二五年五月二十日までのご報告をいたします。

#### 二〇二四年度

##### 支援献金(十二月分)

宮崎祥司、新宮静子、西川暎子、坂井昭彦、吉田正和、田中夫伎子、大久保洋子、林節子、八重樫恵理子、上星川教会、伊藤羊子、横山潤、矢島晶子、及川のり子、渡辺輝夫、雲居玲子、大室寛子、高畑靖子、伊東永子、宮島牧人、北口沙弥香、川上豊子、堀江有里、大塚平安教会

##### 支援献金(一月份)

加藤敬、鶴川北教会、田園江田教会、横浜本牧教会、茅ヶ崎平和教会、横浜磯子教会

##### 支援献金(二月・三分)

上大岡教会、藤沢教会、隠岐教会、六角橋教会、岡安博、大塚亨、林間つきみ野教会、紅葉坂教会

総額 二二三、〇〇〇円

感謝してご報告いたします。

### 二〇二四年度支援会報告

#### 収入

前年度繰越金 三六、四四二  
支援献金 一四七、〇〇〇  
クリスマス献金

二一三、〇〇〇  
利子 〇

収入合計 三九六、四四二

#### 支出

振り込み負担金 九、八七〇  
通常会計へ 三六六、五七二  
年度繰越金 〇  
支出合計 三九六、四四二

#### 二〇二五年度

##### 支援献金(四月分〜五月分)

横浜港南台教会(一年分)、高畑靖子(以上敬称略)

総額 六〇、〇〇〇円

感謝してご報告いたします。

### 編集後記

二〇七号をお届けします。今回は寿地区でご活躍されている森英夫さんから貴重なお話を伺うことができました。渡辺英俊牧師の使信は渾身の作でなかだよりがトータルで六ページになりました。佐々木さんが召天されたことは寂しいです。(敦)